

2025年12月23日

文京区長
成澤廣修 様

日本共産党文京区議会議員団
東京都議会議員 福手ゆう子

年末年始に区民生活と命を守るために緊急申し入れ

日頃より、区政運営にご尽力されていることに感謝申し上げます。
物価高騰や円安で区民の暮らしと地域経済は大変になっています。一刻も早く暮らしを応援する施策が必要であり、以下の点について実現するよう要望いたします。

1 生活保護の相談と申請を受付ける窓口を開く等、体制を取り区民に周知すること

今年の年末年始は12月27日(土)から1月4日(日)まで9日間に渡り区役所が閉庁となります。その期間を通じ生活困難抱える区民の相談を受け付けることをはじめ、生活保護の申請を受け付けられるよう、9階の生活福祉課の窓口を開く等、相談できる体制をとること。

2 区に交付予定の「物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金」(重点支援地方交付金)約11億円と2024年度決算剰余金約80億1615万円のうち、年度末まで財源留保を想定している(10億5千万円)、財調基金も一部活用して、以下の点を実現するよう要望いたします。

① 区民1人あたり5000円を支給すること。

※文京区が今年5月に公表した「若者の生活と意識に関する調査報告書」では「家計の状況」が「赤字であり、貯金を切り崩している」と「赤字であり、お金を借りている」との回答が20~24歳で他の年齢層よりもやや高くなっています(19歳で10.2%、20~24歳で15.2%)。

② 住民税非課税世帯と均等割りのみ世帯に1世帯当たり10000円を支給すること。

③ 高齢者介護施設(入所、通所、訪問、居宅介護支援)、障害者施設(入所、通所:療育・訓練含む、訪問、相談)、保育施設(保育、幼稚園など)、公衆浴場、診療所等の医療施設(歯科や薬局含む)に年末分の物価高騰支援を行うこと。

④ 子ども食堂やフードパントリーを実施する団体への年末の物価高騰援助を行うこと。

以上